

令和 4 年度事業計画について

【1】 令和 4 年度業務運営にあたって

令和 4 年度は、2 月に始まったロシア軍のウクライナ侵攻や現在まだ続く新型コロナウイルス感染症のオミクロン株 6 波・7 波など、世の中の不安定材料が多く、先の明るい未来が見えない混沌とした状況で始まりました。

そうした中、県内の企業・障害福祉事業所も、コロナ感染に合わせて戦争の影響も出始めました。

また、オールしずおかベストコミュニティ設立当初と比べ、福祉事業所の考え方も障害者の福祉的就労に軸足を置いた工賃向上支援に加え、障害者施設を使った「街づくり・地域活性化・人づくりなど」の活動も現れ、私たちもその変化を捉え「企業・障害福祉事業所・当事者」への支援を柔軟に行っていきます。

令和 4 年度の活動としては、以下 障害福祉事業所への工賃向上支援、障害のある人の働くことへの就労支援、文化芸術活動支援の 3 つの分野で活動を実施してまいります。

I. 健康福祉部障害者支援局からは

- ①障害者働く幸せ創出センター事業
 - ②農福連携による工賃向上支援事業
 - ③ふじのくに福産品一人一品運動推進事業
 - ④障害者地域生活支援事業(企業 CSR 連携推進事業)
 - ⑤障害のある人への心づかい推進事業費（ヘルプマーク推進事業）
- などを受託しました。

II. 経済産業部就業支援局からは、

昨年度は世界的なパンデミックの中、実雇用 560 名の目標に対して、562 名の障害者の就労のお手伝いが出来ました。今年度からは、国や県のウィズ・コロナによる景気刺激策等の動きを鑑みて、今年度も目標をクリアしていきます。

反面、就労後の定着が出来ない当事者・企業も見られ、支援の在り方も定着を意識した関係団体との連携強化を進めていきます。

さて昨年同様に、

- ①障害者雇用企業支援事業を受託しました。
- ②経済産業部農業局からは、今年度も農福連携ワンストップ窓口の運営を受託。農業者と障害福祉を結ぶ活動を受託しました。

昨年は、講座・個別指導など多くの連携をさせて頂きました。

今年度は、昨年を上回る活動を目指して、各分野の農業活動と障害福祉を結ぶ懸け橋を目指します。

Ⅲ. スポーツ・文化観光部文化局からは、

- ①障害者文化芸術活動支援センター「みらーと」の運営を受託しました。
- ②新たに障害者芸術ポータルサイト開設に伴う運営活動が加わります。
- ③県東中西部の支援コーディネーターと専門アドバイザーが連携し、特別支援学校や事業所などに出向き、それぞれの地域特性に合った、支援活動を展開していきます。
- ④常設展示の WEB 美術館も多くの作家・作品の発表の機会を設け、リアルとバーチャルと連動した支援をしていきます。
- ⑤恒例の「パフォーミングアーツ” Look@me ! ”」は、静岡県障害者芸術祭と連携した形で 3 密対策を十分に配慮して、ファッションショーに捉われず実施をしていきます。

最後に当法人の活動は、12 年目を迎えました。時代の変化と共に求められる支援ニーズも変わってきています。障害福祉事業所・企業・当事者のニーズを常に把握し、適切な支援を実施していきます。

今後とも、会員はじめ、関係者の皆様の多大なるご支援を賜わるようお願いいたします。

【2】 通常総会、記念講演会

通常総会	日時	令和 4 年 6 月 24 日（金） 13:30～15:00
	場所	障害者働く幸せ創出センター 会議室 会場とオンラインを併用して実施
総会記念講演会	講師	村田ボーリング技研株式会社 代表取締役 村田光生 氏
	演題	「いい会社作りに右往左往」

【3】 理事会・監査会

第 1 回	令和 4 年 5 月 25 日（水）	10:00～12:00
第 2 回	令和 4 年 6 月 24 日（金）	総会時
第 3 回	令和 4 年 8 月 26 日（金）	15:00～17:00
第 4 回	令和 4 年 10 月 28 日（金）	10:00～12:00
第 5 回	令和 5 年 1 月 27 日（金）	15:00～17:00
第 6 回	令和 5 年 3 月 24 日（金）	10:00～12:00
監査会	令和 4 年 5 月 19 日（木）	10:30～12:00 決算監査、業務監査

【4】令和4年度組織・人員体制

1) 組織 別添組織図参照

①1部5課1センター

- ・総務課
- ・工賃支援部（旧支援部、 工賃支援課・農福連携課・企画課）
- ・就労支援課・就労相談
- ・障害者文化芸術活動支援センター「みらーと」

②課、センター、窓口

ア) 工賃支援課

- ・事務局に、課長1名、担当1名を配置する。
東部・中部・西部の各地区にセンター長を1名配置する。

イ) 農福連携課

- ・農福連携ワンストップ窓口を設置し、課長1名(部長兼務)、担当者2名を配置する。また、東部・中部・西部の各地区に農福連携コーディネーター各1名を配置する。

ウ) 障害者文化芸術活動センター

- ・東部・中部・西部の各拠点に支援コーディネーター1名を配置する。中部地区のコーディネーターは、リーダーを兼務する。また、外部スタッフに専門アドバイザー1名を配置する。

エ) 就労支援課

- ・障害者雇用推進統括コーディネーター1名を事務局に配置する。
- ・障害者雇用推進コーディネーター13名（東部4名、中部4名、西部5名）
- ・就労相談員1名を事務局に配置する。

オ) 総務課

- ・各部、センターの人事、総務、経理を担当する。

カ) 企画課・広報等

- ・かわら版、ホームページ、ブログ、他のSNSの情報発信を担当する。
- ・企業CSR連携促進、ヘルプマーク普及促進、子ども食堂誕生日会・授産製品応援事業を担当する。

2) 人員

別紙記載

【5】令和4年度委託事業・補助金事業等概要（予定）

【受託事業一覧】

（単位：千円）

部 局 名	委託事業名	ASBC 内部署	委託予算
健康福祉部			59,342
	障害者働く幸せ創出センター事業	工賃支援部	26,500
	農福連携による工賃向上支援事業	農福連携課	22,496
	ふじのくに福産品一人一品運動推進事業	工賃支援部	4,315
	企業CSR連携促進事業	工賃支援部	4,433
	ヘルプマーク普及促進事業	工賃支援部	1,598
経済産業部			64,256
	障害者雇用企業支援事業	就労支援部	55,400
	就労相談員設置事業	就労支援部	4,056
	農福連携ワンストップ窓口、他(地域農業課)	農福連携課	3,000
	農福連携技術者の派遣	農福連携課	1,300
	農福連携サポーター派遣	農福連携課	500
スポーツ・文化観光部			15,430
	障害者文化芸術活動支援センター	みらーと	15,430
静岡市補助金事業			4,647
	福祉ショップテルベ運営	工賃支援部	4,647
静岡県赤い羽根共同募金会助成金事業			6,200
	子ども食堂誕生日会・授産製品応援事業	工賃支援部	6,000
	資金使途選択募金支援事業(カフェ就労)	就労支援部	200
合計			149,875

その他(令和4年3月現在、予算額が未定な案件

①	障害者芸術ポータルサイト設立・運営	みらーと	3,000
---	-------------------	------	-------

運営のみとなり、予算額の一部が該当(現在未定)

＊事業費については、県より提示された金額を記載していますが、国庫予算が入っている為、最終的な金額は、6月の補正、9月の補正以降となります。

1) 県委託事業(健康福祉部)

①障害者働く 幸せ創出センター運営事業	事業費	予定 26,500 千円
---------------------	-----	--------------

総合計画：障害者働く 幸せ創出センターの年間受発注仲介件数 目標値 1,200 件(2025 年)
(令和 2 年度、受注仲介件数：1,071 件) ・ 令和 3 年 2 月末 1,070 件

ア)福祉と企業、地域の連携の創出

- ・ふじのくに福産品購入、業務受発注に向けた企業への提案
- ・障害福祉事業所と企業の協働イベント開催
- ・障害福祉事業所と企業の連携推進等

イ)地域拠点及び常設店舗(とも静岡店・とも沼津店)の運営等

常設店舗の運営及びマネジメントによる、事業所やふじのくに福産品等の広報及び情報発信。

ウ)共同受注窓口・優先調達窓口

- ・受発注対応
- ・官公庁・企業等に対し、発注拡大に向けた提案
- ・事業所業務や物品に関する情報発信
- ・官公庁や企業等からの大量発注を事業所が共同処理する体制の構築

エ)障害のある人の「働くこと」に関する相談体制の確立

事業所、企業等、障害のある人本人等からの障害のある人の働くことに関する総合相談の実施(企業や相談者のプライバシーに関する相談に対応するため、相談室を設置する)

オ)センター、地域拠点及び常設店舗の管理

- ・ふじのくに福産品等展示コーナーの運営
- ・情報コーナーの運営
- ・交流・イベントスペース・会議室等の管理運営

カ)その他

- ・本業務の進捗状況を適宜報告し、県と調整を図る
- ・他事業、団体等との連携

②農福連携による工賃向上支援事業	事業費	22,496 千円
------------------	-----	-----------

ア)農業技術向上に向けた研修

農業の基礎、仕組み、農業技術の向上等の研修。参加者が操作や作業等を体験できる内容。

イ)農業技術向上個別支援

障害福祉事業所に専門講師を派遣し、農業の基礎、仕組み農業技術向上等又は 6 次産業に資する指導や助言等を行う。

ウ)農福連携ワンストップ窓口 ・農福ワンストップ窓口 ・農福連携技術者の派遣 ・農福連携サポーター派遣	事業費 (内訳)	4,800 千円 (3,000 千円) (1,300 千円) (500 千円)
--	-------------	--

農福連携コーディネーターの設置、農福技術支援者の派遣他。

(※経済産業部農業局・農地局)

③ふじのくに福産品一人一品運動推進事業	事業費	4,315 千円
---------------------	-----	----------

ア)ふじのくに福産品の継続的な購入を県民全体で促進

(※県庁職員向けと企業向け一人一品運動協力隊の実施)

イ)市町や地元企業を巻き込んだブランド化推進

ウ)県民向け普及啓発

④企業 CSR 連携促進事業	事業費	4,433 千円
----------------	-----	----------

ア)障害福祉サービス事業所等のニーズと企業による CSR 活動とマッチング

⑤障害のある人への心づかい推進事業(ヘルプマーク普及促進事業)	事業費	1,598 千円
---------------------------------	-----	----------

ア)ヘルプマークフォーラム開催 他

2) 県委託事業(経済産業部)

①障害者雇用企業支援事業	事業費	55,400 千円
--------------	-----	-----------

ア)静岡県は、県内を8つのエリアに分けた福祉圏域を作っている。「障害者雇用推進コーディネーター」をこの圏域に配置(14人)し、公共職業安定所、就労支援団体等と連携して、企業等に訪問。マッチングを促進する

- ・求人開拓情報の活用と実雇用に向けたマッチング支援
- ・公共職業安定所との連携の下に、法定雇用率対象企業に対し、障害者雇用に向けた働きかけ及び支援
- ・企業が抱える障害者雇用に関する課題を把握し、障害のある人の能力に適した職務の選択や受入体制等の整備について支援機関と連携して支援

イ)コーディネーターの成果目標 475人以上

ウ)静岡県障害者就労応援団の運用等

- ・静岡県障害者就労応援団登録制度の周知等
- ・応援団による応援希望事業所等に対する支援の調整
- ・障害者雇用促進セミナー・見学会の開催3回開催。(オンラインで開催も可能)
- ・障害者雇用ガイドブックを5,000部以上印刷。企業訪問、障害者雇用促進セミナー及び障害者雇用企業見学会等で使用する(印刷原稿は電子データを提供する)

②障害者就労相談員設置事業	事業費	4,056 千円
---------------	-----	----------

ア) 相談員 1 名を配置し、障害者働く幸せ創出センターを拠点に障害者の就労に関する相談窓口を設置する

イ) 障害福祉事業所、企業、障害者及び家族からの相談対応

エ) 障害者就業・生活支援センター等関係機関との連携により支援

3) 県委託事業（スポーツ・文化観光部）

①障害者文化芸術振興事業	事業費	15,430 千円
--------------	-----	-----------

ア) 静岡県障害者文化芸術活動支援センター「みらーと」運営

- ・ 支援コーディネーター3 名及び専門アドバイザー1 名配置
- ・ みらーと協力隊の設立。各展示会や研修・ワークショップ・オープンアトリエなどの運営協力・相談支援、作家・作品の調査発掘、発表の機会の創出
- ・ 支援人材の育成研修、ワークショップ・オープンアトリエの開催
- ・ 障がいのある人がモデルを務めるファッションショーや芸術活動の発表の場パフォーマンス Look@me！ “の開催

実施日 障害者芸術祭日程により決定

会場 未定

②障害者芸術情報発信	事業費	3,000 千円(内一部)
------------	-----	---------------

ア) 障害者芸術ポータルサイトの制作と運営。開設に伴い、コンテンツの拡充と運営

4) 静岡市補助金事業

①テルベ事業	事業費	4,647 千円
--------	-----	----------

ア) イトヨーカドー静岡店内(1F)「福祉ショップテルベ」の運営、パート 6 名で対応

イ) 令和 3 年度売上 3,971 千円 (3 月末実績)

5) 静岡県赤い羽根共同募金会助成金事業

①子ども食堂誕生日会・授産製品応援事業	事業費	6,000 千円
---------------------	-----	----------

ア) 県内の子ども食堂に、障害福祉事業所で誕生日ケーキを作って頂き、1,000 セット配布する

②資金使途選択募金助成事業	事業費	200 千円
---------------	-----	--------

ア) 就労支援自主事業として実施を計画しているカフェ就労の活動に充当する

【6】 自主事業

1) 会員増強

会員を増強し、法人の基盤強化と自主財源の確保に努める。

(会員数)

令和 3 年度会員数(2 月末)	444 会員
令和 4 年度目標	460 会員

*令和 6 年度、500 会員達成目標とする

2) 研修事業

研修情報部会を中心に、自主研修を企画運営する。

福祉事業向け研修や障害者雇用企業にも役に立つ研修を検討する。また他団体と連携も重視する。

3) 物品販売

①ふじっぴー関連グッズ販売

令和 4 年度は、コロナ感染者も減少に向かうと判断し、県事業イベントを始めとするチャンスを活かし販売をする。

*令和 3 年度売上実績 581 千円 (3 月末実績)

②企業・学校職域販売

静岡県立中央高校などで、パンの販売を実施。学校や社内売店への展開は、可能性があり、販路拡大に努める。

4) 部会運営

(令和 4 年度予定する部会)

①経営総務部会

当法人の自主事業の検討チームからの報告を受けて、具体的に事業内容を決定し理事会に対して提言する。

②就労支援部会 コーディネーター事業等就労支援事業のフォローをする

③研修情報部会 自主研修事業等の企画・運営をする

5) ふじのくに福産品コンクール

①実施日 令和 4 年 10 月 14 日 (金)

表彰式 令和 4 年 12 月 3 日 (土) (予定)

令和 3 年度福産品コンクールは、2 年続きで新型コロナウイルス感染症蔓延の為、中止となった。今年度は、コロナ感染対策を取り、開催方法を工夫して実施を予定。また、特別支援学校からの参加も引き続き依頼し作業作品の展示も実施。

6) 新春講演会

①実施日 令和5年1月25日(水) 13:30～15:30

会場 グランシップ 6F 交流ホール

②講師 未定

③演目 未定

7) 広報活動

会員、福祉事業所、行政、企業、地域などに対して情報発信を行う

①かわら版の発行

・年4回発行する

②ホームページ、メルマガ、ブログなど SNS を活用

・ホームページを充実しアクセス数を伸ばす。

・メルマガ、ブログなどの SNS を活用し情報を発信する。

8) 諸会議

①全体会議

・月1回開催

②支援部・総務部・みらーとの各会議は、月1回を計画

③雇用推進コーディネーター会議は、月1回を計画

④センタースタッフ会議は原則、毎週月曜日開催

*職員数

組織		令和 3年度	令和4年度		
			正規職員	補助職員	計
事務局長		1	1	0	1
総務部計		4(3)	2	3	5
	総務部長	事務局長兼任	事務局長兼任	0	0
	総務課	4(3)	1	2	3
	企画課	0	1	1	2
就労支援課計		19	16	0	16
	就労支援課	18	15	0	15
	就労相談員	1	1	0	1
工賃支援部計		20(12)	7	11	18
	工賃支援部長	1	1	0	1
	工賃支援課	5(2)	1	1	2
	地区支援	4(1)	3	1	4
	農福連携課	4(3)	2	3	5
	テルベ店舗	0(6)	0	6	6
文化芸術活動支援センター		3	3	0	3
合計		47(15)	29	14	43

令和3年度の括弧内数字は、補助職員数です